



# きじむんの どう〜ちゅいむにい〜 干支編

## 第7回 亥(だけと豚)

キーワード：亥 猪 豚 美女に化ける豚

ハイサーイ&ハイターイ！ キジムンヤイベーン！

十二支最後の動物は亥！ 日本では猪(いのしし)だけど、豚を指す国もあるんだ。「鳴き声以外は全部食べる」といわれ  
るくらい、沖縄にとって豚はとてほかかわりの深い動物。ということで、今月は豚の話題だよー。

### ・美女(美男)に化ける豚のお話

むかしある村で、毎晩皮草履を履いた美女が現れては村の若い男性達を誘惑していました。男たちは美女に居所や名前を聞こうとしますが、彼女はただ笑うばかりで返事すらしません。男が皮草履を脱がせて奪ったところ、彼女は足を引きずりながらどこかへ去ってしまいました。翌朝皮草履をみた男達はびっくり。なんとそれは豚の爪だったのです。彼らが各家の豚小屋を調べたところ、とある家の老豚が爪を抜かれて倒れており、男達はあの美女が豚が化けた姿だったことに気が付きました。それで、豚はあまり長い間飼うものではないということです。



画像①



画像②

### ・琉球人と豚

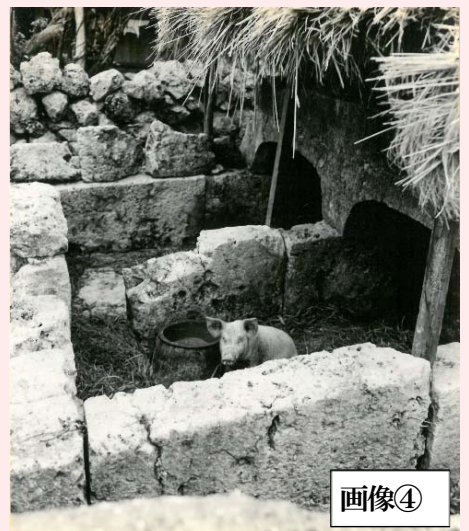
豚は、ソーキ汁にラフテー、中味汁にミミガーやさらには血イリチーと、沖縄料理に欠かせない食材です。お盆や正月等の年中行事にも登場し、まさに沖縄食文化を象徴する家畜と言えるでしょう。

沖縄風俗を描いた絵図には、頭に子豚を載せて売る人々の姿が時折登場します(画像①②)。沖縄の在来種は島豚といい、黒色で背が湾曲し腹部が垂れ下がった豚でした(画像③)。那覇や首里では大正初期頃までは近隣の農村地帯から購入した子豚を豚小屋(豚便所：ウワーフル)にて飼育していたようです(画像④)。遊郭においては、豚の飼料の芋皮を買い集めるのが農村から遊女として買い上げられた少女たちの最初の仕事でした。また、首里方面の酒屋では、酒粕を利用した養豚が盛んで、どこの酒屋でも数百頭の豚を飼育していたことが『那覇の民俗』(『那覇市史』)に記録されています。



画像③

頭に子豚を載せて売る人の絵図を是非デジタル・アーカイブで見てくださいね！(CT)



画像④

画像①豚売り(阪巻・宝玲文庫 No.HW747「沖縄風俗之図」より)

画像②豚売り(図書ID: 0020040092768「琉球風俗図」より)

画像③沖縄在来種の黒豚(絵葉書)

画像④高嶺村(現糸満市)国吉の豚小屋(ウワーフル)[1960年頃][George H. Kerr 調査写真 No.9 より]

参考文献：島袋源七『山原の土俗(復刻版)』(炬辺叢書, 名著出版, 1977年), 田畑千秋「豚習入」とその周辺(『沖縄文化研究』No.5, 1978年), 田畑千秋『南島口承文芸研究叙説』

(第一書房, 2005年), 那覇市企画部市史編集室『那覇の民俗』(『那覇市史』資料編2-中-7, 那覇市, 1979年)

琉球大学附属図書館 保存公開係 平成30年10月1日発行



沖縄風俗之図